

第27回 JUSEパッケージ活用事例シンポジウム
開催日:2017年12月4日(月) 会場:SYD修養団ビル 2階ホール

ビッグデータ時代の 統計的方法の有用性

参加費無料

記念 講演



製造業における

AI+ビッグデータ利活用の考え方および課題

小野田 崇 氏 (青山学院大学 理工学部 経営システム工学科 教授)

事例 報告

清水 貴宏 氏 (パナソニック株式会社 オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社)

森下 敏 氏 (日本ゼオン株式会社 生産革新センター ZS推進部 兼 徳山工場生産革新室)

田上 康博 氏 (株式会社アーレスティ栃木)

松岡 弘樹 氏 (筑波大学大学院 博士後期課程人間総合科学研究科 体育科学専攻)

表彰 受賞講演

第14回「JUSE-StatWorks活用エキスパート賞」の表彰と受賞講演

受賞者 : 豊田合成株式会社 品質保証本部 TQM推進部 野田 宗利 氏

受賞講演 : 豊田合成におけるSQC/QE実践力向上活動とトヨタグループでの取り組み

製品紹介

JUSE-StatWorksの新しい製品・機能・サービスの紹介およびデモ
〜ビッグデータ解析ツール(教育研修版), V5英語版, 両側T法, 手法選択ナビ〜
株式会社日本科学技術研修所 数理事業部

司会進行

安井 清一 氏

東京理科大学 講師

展示

ニュートンワークス株式会社
株式会社日科技連出版社

日時 2017年12月4日(月) 10:00~17:00 受付開始9:30

会場 SYD修養団ビル 2階ホール

東京メトロ副都心線「北参道駅」出口1より徒歩3分

JR山手線・総武線「代々木駅」西口より徒歩5分 (ほか)

定員 100名 事前にWebフォームからお申し込み下さい(定員になり次第締め切り)

※お申込は原則、1社につき2名まで(保守契約者は4名まで)とさせていただきます。

保守契約者は申込の際に、申込フォームの記入欄に保守契約者番号の入力をお願いします。

本シンポジウムの詳細、お申し込みは下記Webページへ

<http://www.i-juse.co.jp/statistics/jirei/sympo/27/>



JUSE-PACKAGE SOFTWARE PRODUCTS

JUSE株式会社 日科技研 研究所

(株)日本科学技術研修所 数理事業部 セミナー事務局

151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-10-11

TEL ▶ 03-5379-1403 FAX ▶ 03-5379-5404

URL ▶ <http://www.i-juse.co.jp/statistics/>

製造業におけるAI+ビッグデータ利活用の考え方および課題

小野田 崇 氏（青山学院大学 理工学部 経営システム工学科 教授）

第3次人工知能ブームの中、様々な産業でビッグデータに人工知能を融合させて、ビッグデータを活用しようとする試みが盛んに行われてはじめています。本講演では、特に、ビッグデータの利活用を試行し始めた産業の例に基づき、製造業におけるビッグデータ利活用の考え方と課題に関して情報を共有したいと思います。
※アブストラクトより一部抜粋。全文をご覧になるには弊社Webサイトにアクセスしてください。

海外従業員に対する有効的SQC Trainingについて

清水 貴宏 氏（パナソニック株式会社 オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社）

海外で事業を行う日本企業の中で、よく耳にする話の1つに海外従業員に対する人材育成の難しさがある。確かに従来型の日本企業運営に対して、海外の従業員は文化・生活風習・宗教・思想など様々な観点から異なる考え方を持っているのは事実である。しかしながら、日本のモノづくり企業の得意分野である『高品質』を海外でも維持するためには、海外従業員への品質・信頼性や統計的方法論の教育は不可欠である。2001年からアジアの従業員を対象に品質・信頼性・SQC指導を行ってきた。海外従業員への教育の考え方・効果などについて説明する。

微粉分離用セパレータの除去率向上

森下 敏 氏（日本ゼオン株式会社 生産革新センター ZS推進部 兼 徳山工場生産革新室）

製品特性A異常を未然に検知するための製品検査機が、各工程で副次的に発生する微粉末によって、動作不能に陥った。本発表では、現象の理解にCAEも活用しながら実験計画法を駆使し取り組んだ事例紹介です。

MTシステムを活用した良品条件の判定方法

田上 康博 氏（株式会社アーレスティ栃木）

ダイカストの良品射出波形を「いつもの状態」と定義し、鑄造欠陥（鑄巣）の発生する射出波形パターンを、MTシステムを用いて判別させることに着目して進めている。そのMTシステムを日常管理のツールとすることを目指している。

サッカーのトラッキングデータからの守備戦術プレーの達成度評価

松岡 弘樹 氏（筑波大学大学院 博士後期課程人間総合科学研究科 体育科学専攻）

最先端のテクノロジーで計測されるトラッキングデータを用いたサッカー戦術プレー評価が期待されている。SEM、決定木分析、項目反応理論分析を適用したサッカー守備戦術プレーの達成度評価尺度構成の研究です。

第14回「JUSE-StatWorks活用エキスパート賞」の表彰と受賞講演

受賞講演『豊田合成におけるSQC/QE実践力向上活動とトヨタグループでの取り組み』

受賞者：豊田合成株式会社 品質保証本部 TQM推進部 野田 宗利 氏

弊社は、トヨタグループの活動とリンクして核となる人材を育成している。弊社のSQC/QEの実践力向上活動と合わせて、トヨタグループSQC研究会の活動も紹介する。その中で、StatWorksの実務活用への寄与、貢献度を報告する。

JUSE-StatWorksの新しい製品・機能・サービスの紹介およびデモ

～ビッグデータ解析ツール（教育研修版）,V5英語版,両側T法,手法選択ナビ～

株式会社日本科学技術研修所 数理事業部